

## 活性化会議にて指摘・提案いただいたポイント ①地元企業と学生の早期の相互理解の促進

- 就職活動前の学生に対する地元企業の周知強化
- 地元企業のインターンシップを通じた、地元企業と学生の相互理解の促進
- 学生向けのキャリア教育／職業観醸成の充実化（業種、業界、会社、働くとは何か等）
- 高校の進路指導の教諭への地元企業の周知強化（例：教諭向けのインターンシップ等）

## 対応の方向性

地元教育機関等と連携を図り、早い段階（大学低学年や高校生）での学生と地元企業との接点・交流の機会を創出する。

<対応策>

### ①大学低学年向けインターンシップ推進

学生のキャリア支援、地元定着促進、受入れ企業の人材育成等を目的に、大学低学年を主対象とした地元企業への5日以上インターンシップを地元大学等と連携し実施する。

インターンシップ受入れ企業開拓・支援のため、インターンシッププログラム企画のためのセミナーやコンサルティングを行うとともに、インターンシップフェアを開催し、学生と企業とのマッチングを図り、インターンシップ実施に繋げる。

### ②高校生向けフィールドスタディ（職業体験）事業

「地元企業」とそれを支える「働く大人」を知り、将来、地元で働くことを考えるきっかけになる職業体験イベントを実施。地元企業を知ってもらうとともに、高校生に学びと仕事の繋がりや広がり伝える。将来的には高校の授業である「探究の時間」と連携し地元企業へのインターンシップに繋げる。

### ③企業と高校教諭との懇談の機会の創出

高校生向け合同企業説明会時に教諭が企業のブースを回り懇談できるようにしている。

インターンシップフェア（イメージ）



高校生向け職業体験イベント



# 「若者の地元定着促進」の今後の方向性

## 活性化会議にて指摘・提案いただいたポイント ②UIJ層アプローチ

- Uターン、Jターン、Iターン層のニーズを把握した施策の必要性
- 就職・転職に関する動向を企業とのタイアップにより周知
- 地域の魅力を整理し、学生に情報を提供する必要性

## 対応の方向性

仙台・宮城の魅力、企業情報等を首都圏に効果的に発信し、仙台・宮城・東北出身者等のUIJターン就職を促進する。

<対応策>

### ①首都圏大学・東北の自治体との連携事業

首都圏大学及び山形市などと連携し、地元企業や地域の魅力を首都圏大学生に直接伝えることができる企業研究会や交流会等のイベントを開催する。

また、地元企業・地域の課題解決を図るワークショップを東京で開催し、地方創生等に興味のある大学生のUIJターンを促進する。

### ②地域情報の発信の強化

転職イベントへの出展や転職エージェント等との連携、リーフレットやWEB、SNS等を活用し、地元の就職・転職環境や生活環境等の情報、地元の魅力を周知し、UIJを促進する。

### ③ニーズ把握

UIJ層のニーズ把握については、民間の調査データや大学のキャリアセンターなどから情報収集を行い、効果的な施策に繋げていく。

企業人 × 学生 & 若者 ★ トークイベント・交流会  
**せんだい&やまがた NIGHT**  
in +OURS 八重洲  
2019  
**11/1** 金  
18:00 ~ 20:30  
会場：東京建物八重洲ビル3 F (+OURS 八重洲)  
東京都中央区八重洲 1-4-16  
参加無料

地域活性化実践型  
好評につき  
第4回開催!  
**6大学合同  
ワークショップ**  
学生ならではの提案で地方を元気にしよう!  
《参加大学》ICU・青山学院大学・上智大学・成城大学・フェリス学院大学・法政大学  
今回は仙台市にある優良な商品・サービスを、  
首都圏や全国に売り出すための、  
学生ならではの提案を企業に行います。  
「こんな方に!」  
大学生で新しいことに挑戦したい!  
他大学の学生と交流を持ちたい!  
地方創生に興味がある!  
就活に役立つ経験がしたい!  
1,2年生も大歓迎

地元(Uターン含む)就職を希望しない学生の理由として『都会の方が便利だから』(38.3%)次いで『志望する企業がないから』(38.1%)が19年卒同様上位に挙げられた。実現すれば地元就職するかもしれないものについても、19年卒同様の傾向がみられ、『働きたいと思うような企業が多くなる』(43.9%)『給料がよい就職先が多くなる』(39.6%)が上位となった【2020年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査】